

○閉会挨拶

警察庁長官官房審議官（犯罪被害者等施策担当） 江口 有隣



警察庁で犯罪被害者等施策を担当しております審議官の江口と申します。犯罪被害者週間中央イベントの閉会にあたりまして一言御挨拶申し上げます。

本日は大変お忙しいところ、大勢の方に御来場、御視聴をいただきまして誠にありがとうございました。また、基調講演をしてくださいました寺輪様、そしてパネルディスカッ

ションでコーディネーターを務めてくださった尾崎先生、パネリストの木本様、林様、登坂様、本当にありがとうございました。そして、このイベントに向けて準備を重ねてくださったスタッフの皆様方にも心から感謝を申し上げます。

本日の基調講演では、寺輪様から、お嬢様を奪われ、犯罪被害者御遺族となられて以降、現在も続く大変つらい御経験や思い、また、強い思いを持って条例制定の働きかけをされたこと等についてお話いただくとともに、施策のあり方に関する提言もいただきました。大変率直にお話をしていただいたところでございます。寺輪様のお話を伺い、胸が締めつけられるような思いになるとともに、私も自分の家族に突如襲いかかるかもしれないといったようなことに思いが巡り、犯罪被害を自分ごととして捉える機会となったように思います。

また、パネルディスカッションでは、「途切れのない支援の実現に向けて～みんなで被害者を支えよう～」をテーマとして、支援する側の様々なお立場から御議論をいただきました。被害者の方々が被害後も地域で安心して生活するためには、身近な地方公共団体や関係機関・団体に加えまして、周囲の理解と温かい支援が大切であること、自分の周りに犯罪被害に遭われた方がいた場合にできることについて考えることができたように思います。御登壇いただきました皆様には、改めて感謝を申し上げます。

さて、今年度のイベントでは、より多くの方に犯罪被害者が置かれる状況やその支援の重要性を知っていただき、自分たちに何ができるかを考えていただくきっかけづくりをコンセプトといたしたところでございます。

我が国における犯罪被害者等施策は、平成 16 年に犯罪被害者等基本法が成立して以降、基本計画に基づきまして、様々な制度が創設されるなど、着実に進展をしております。

しかしながら、被害者の方々は今もなお多くの困難を抱えておられます。

また、施策での課題というものもあるところでございます。

政府といたしましては、地方公共団体、関係機関や団体の皆様としっかりと連携をしながら、被害者の方々に必要な支援が途切れることなく提供されるよう、力を尽くしてまいりたいと考えているところでございます。このような取組をより実効的なものにするためには、

本日御出席、御視聴の皆様を始め、幅広い国民の皆様の御理解と御協力が不可欠でございます。

本日のイベントが契機となりまして、被害者の方々を孤立させることなく、社会全体で温かく支えていく気運がさらに高まり、被害者の方々に対して末永く寄り添う社会となることを願ひまして、閉会の挨拶とさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。